

総合計画市民検討協議会 第5回報告書（行財政運営部会）

記録者	堤原 聡	場所	市役所北庁舎第1～3会議室	
開催日時	平成24年4月7日（土） 午前9時30分～正午			
出席者 （9名）	伊東 信江	小川 暁男	清水 雅英	内藤 治
	松木 紀美子			
	鈴木 梓平	堤原 聡	中村 太一	堀 宗生
	佐藤 直人（オブザーバー）			
傍聴者	1名（ ）			

基本目標	行政改革への取組
基本施策	計画的な行財政の運営 効果的・効率的な行政運営の推進
めざすまちの姿（平成33年のまちの姿）	
<p>（市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず）</p> <p>○市民がそれぞれの役割に応じて、責任を果たすとともに市政に関わり、市に貢献していると感じられ、また市や市民に対して誇りを感じ、誇りを感じさせてくれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tax Payerを大切にするとともに、Tax Payerに対して誇りを感じさせてくれるまち ・市民が自らが市に貢献していると感じることができ、市民が誇りに思えるようなまち ・計画的に行財政運営を行い、効果的・効率的な行政運営を推進するためにすべてにおいて一番を目指し、その実現のために市民とともに協力し、まちづくりを進めるまち 	
主な課題	
<p>（めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい）</p> <p>○行財政の分野では指標が馴染まない面もあるため、指標以外の方法で市民にわかりやすく成果を示すことが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の使い方の指標など、指標が馴染まない取組もあるため、適切な指標の見直し・廃止を行うことが必要である。 ・指標値の根拠を市民がわかりやすいように説明をすることが必要である。 ・指標を設定するのであれば、図表化することにより、重要視している部分等を明確にし、市民がわかりやすくする必要がある。 ・市民の思いを実現化していくことが市民の満足度の向上には不可欠であるが、ハード面だけでなくソフト面の質を向上し、それを可視化し、評価ができるようにしていくことが必要である。 ・他市と比較しての相対的な評価をすることができるようにすることが必要である。 <p>○市民ニーズはあいまいな表現であるが、どのように捉えるかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズは、事業への関連性によって意識が異なるため、市民の意見を聞きながら設定していくことと同時にどのように評価を行うかの基準が必要である。 <p>○市民が納得しやすいようなわかりやすい説明能力を養うとともに、今後の社会経済情勢を見据えた戦略的な行財政運営をどのように行うかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の戦略的な意思決定などの見直し内容が市民にとってわかりやすいものとする必要がある。 	

- ・戦略的意思決定や横断的な政策調整をより進展させ、政策的に市政を運営するために、政策部門に力を入れることが必要である。
- ・PDC Aサイクルの評価の部分では、事務事業点検の経験等を生かし、第3者の視点を取り入れることが必要である。
- ・市の施設のあり方を見直し、戦略的な維持管理・発展を行うことが必要である。
- ・民間の手法を幅広く検討し、よい部分は積極的に導入するとともに、受け皿の内容や質の維持管理などで低下することがないようにすることが必要である。

役割分担の考え方	
【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う施策や事業・予算などに対して、市民自ら積極的に情報収集し、厳しくチェックする。 ・納税者である意識を常に持ち、税金の使われ方に関心を持つ。 ・市を愛し、市政をサポートする気持ちを持つ。 	
【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと	
<ul style="list-style-type: none"> ○施策の優先付けを行い、市民への周知・説明能力を高める。 ・広く浅くの施策展開に陥らないよう、施策の優先付けを行うとともに、市の長期的な視点での思いを計画に反映していけるようにしていく必要がある。 ・市民へのPR方法をよく精査する必要がある。内容が難しく、読んでもよくわからないことがないように考慮する。 ・自分の税金がどのように使われているのかわからない市民が多いため、もっと周知することとともに興味を持ってもらえるような切り口を考慮する。 ・施策の評価体制をさらに確立することが必要である。 ○効率的・効果的な行財政運営を行うこと。 ・公共性以外の観点から随意契約の促進が必要な事業を精査するとともに、入札方式についての更なる検討が必要である。 ・無料の事業を見直し、利用に応じた適切な負担を求めるといふ施策を検討するべきである。 ・事業を実施する職員の質をさらに高めて、より効率的に施策を展開していくべきである。 ・民間譲渡や民営化を進め、サービスの質を落とさないよう施策を展開していくべきであり、民間の力を取り入れられるところはうまく利用し、ソフト面の充実を図ることが必要である。 	
その他 提案事項	
<p>(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政に対するファンクラブを募り、市のサポーターを市政運営に活用する。 	

事務局への連絡事項	特になし
------------------	------